

### 3) 住環境に即した新製品の開発

江口佳孝、関戸正信

住環境における磁器素材の多様化を図るために LED 基盤、鋼管等異素材との組み合わせ、ユニット化を行い外構壁面向けエクステリア磁器製品の展開を試みた。また、有田エクステリア研究会において照明具等商材開発を行い、有田焼インテリア・エクステリア製品のアイテム拡充に取り組み、展示会により食器外陶磁器製品の PR と求評を行った。

#### 1. はじめに

ライフスタイル、特に食習慣の変化に伴う和食器離れ、または食器離れの中で食文化も変化、多様化している。

家事労働のもっとも大きい部分である調理、食後の食器洗いなどを簡素化し、家事労働自体を減らしていく傾向が若年層世帯に多く見られ、これらの世帯を中心に家庭内で使用される食器のアイテム自体が減少し、また偏っている傾向がある。反面、産地としては食器以外の分野で活路を見出せる陶磁器製品の開発が必要であり、産地製品の多様化に資することを目的とした食器外の製品展開を図る検討をした。

陶磁器製品は、屋外では他の素材にくらべ耐候性にすぐれていることから、建材や公共サイン、戸建住宅などエクステリア製品としては適した素材であり、住環境における陶磁器製品の役割は、劣化が著しく少ないことから、コスト面では割高になるものの、長期間その機能性や美観を提供することができる。

このような背景において、住宅向け有田焼エクステリア製品の開発を行った。

#### 2. 試作および支援

##### 2.1 外構壁面装飾「飾り小窓」

市場調査等により業界識者の見識として、外構壁面周りの装飾および外構壁面部の照明効果は、現在のトレンドとして特に注目されているところである。

このことに着目し、有田焼の伝統柄を基に透かし彫りを施した磁器製「飾り小窓」の提案を行った。

図 1 から図 3 に CAD によるパターン展開、写真 1 から写真 5 に試作品、試作機材を示す。

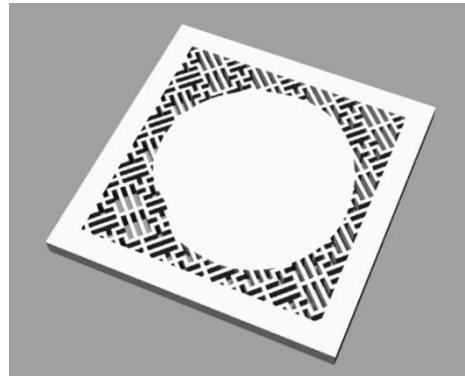


図 1 CAD によるパターン展開.

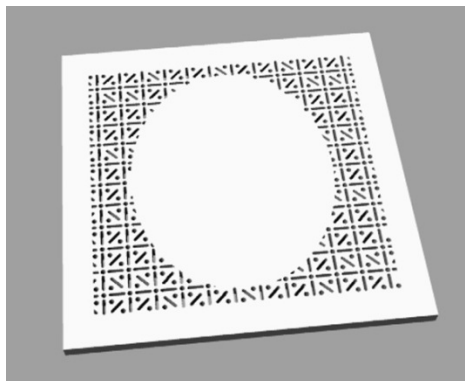


図 2 CAD によるパターン展開.

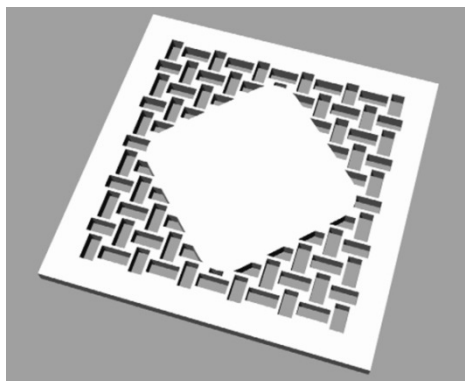


図 3 CAD によるパターン展開.

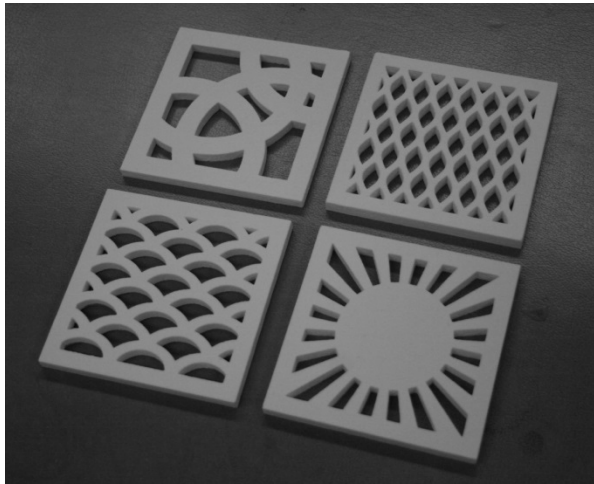


写真1 3Dプリンターによるモックアップ。

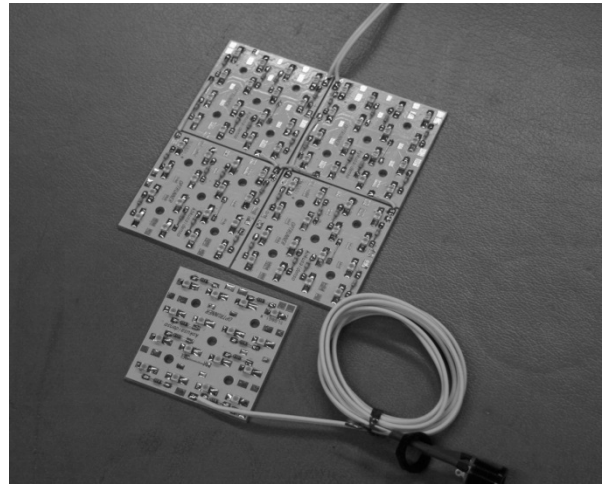


写真4 LED基盤

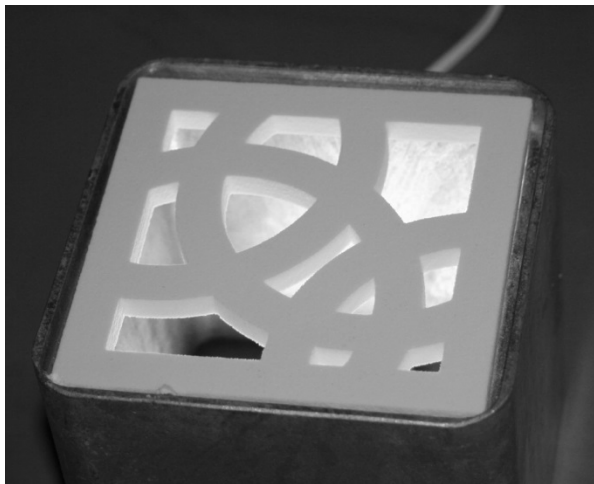


写真2 照明のシミュレーション。

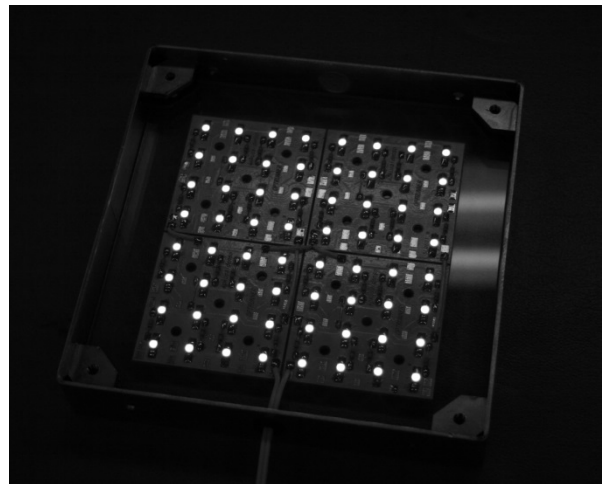


写真5 壁面埋め込みLED機材。

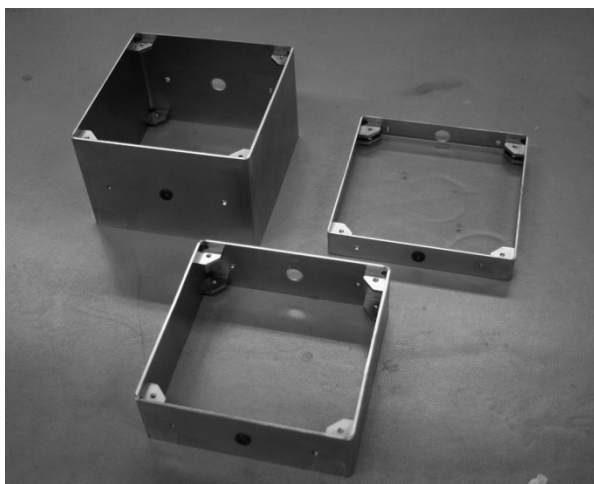


写真3 壁面埋め込み器具。

## 2.2 研究会支援「照明具」

有田エクステリア研究会への支援として、照明具の制作を行った。写真6に示す。



写真6 照明具。

### 3. 展示会

研究の求評、研究会支援として各種展示会での展示により試作品の求評、PRを行った。写真7から写真11に展示の内容を示す。



写真7 グランド工房佐賀店イベント展示.



写真8 有田町内イベント展示.



写真9 西日本トータルリビングショー展示.



写真10 有田秋の陶器まつり展示.



写真11 嬉野あつたかまつり展示.

### 4. まとめ

有田焼等磁器製品の対候性に着目し食器外陶磁器製エクステリア製品の試作、製品展開を行った。

求評・PRとしての各展示会では、有田焼エクステリア製品へのエンドユーザーからの評価は非常に高く、エクステリア市場においても同様に評価は高い。

これらの結果を踏まえ、有田エクステリア研究会を通し、食器外製品のアイテム拡充と市場の開拓に取り組んでいるところである。